

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

広島協同乳業株式会社

## (2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町南方字中山10206-4

## (3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

## 環境方針

当社は、広島県環境基本計画の基本理念である「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」に基づいて、活動拠点である豊かな緑、きれいな水・空気に恵まれた北広島町の豊かな自然を守る事に努めます。その為、事業者の役割として、事業活動が環境に与える影響を考慮し、地域社会への環境負荷低減に努め、継続的な環境改善に取組、環境保護型企業を目指します。これを達成するために環境改善目標を設定するとともに、定期的(年一回、原則期末)に見直し環境マネジメント活動を推進します。

なお、環境保護には、環境汚染の予防及び持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生態系の保護などを含みます。

## 行動指針

- ・当社の環境宣言を組織の全員へ周知するとともに、一般の人々が入手できるようにします。
- ・環境関連法規制を順守します。
- ・環境に配慮した製品設計を心掛けます。
- ・廃棄物の分別によるリユース・リサイクル化を推進します。
- ・事業活動における食品廃棄物を低減するために製造加工工程の改善を常に意識します。
- ・事業活動に伴い発生する産業廃棄物発生量を削減します。
- ・化学物質は、影響評価し採用を判断します。
- ・持続可能な資源の利用を心掛けます。
- ・気候変動の緩和及び気候変動への適応を推進します。
- ・生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- ・日常業務や社内教育を通じて、環境保護に対する従業員の理解と意識の向上に努めます。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成22年度	平成28年度
二酸化炭素	4,355	4,860

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC ) ( PFC ) ( SF6 ) ( NF3 )		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(t)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位数 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位数 値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,355	35,050	0.124	1.6	4,800	39,300	0.122
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	4,355	35,050	0.124	1.6	4,800	39,300	0.122
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.048	2.1	-	-	0.047
目標設定の考え方	新規省エネ設備、高効率電力機器への更新により削減効果の見込まれる数値。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	生産設備	削減効果：CO <sub>2</sub> 排出量20 t/年	冷蔵庫冷凍機を高効率型に更新3台
2	工場照明設備	削減効果：CO <sub>2</sub> 排出量5 t/年	工場製造室、事務所、冷蔵庫の照明ランプをLED器具へ順次更新
3	工場設備	削減効果：CO <sub>2</sub> 排出量10 t/年	蒸気配管の防熱、蒸気トラップの更新による洩れ防止
4	工場設備	削減効果：CO <sub>2</sub> 排出量2 t/年	コンプレッサの排熱をダクトで室外排気することにより室内の温度を下げモーター負荷の低減

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

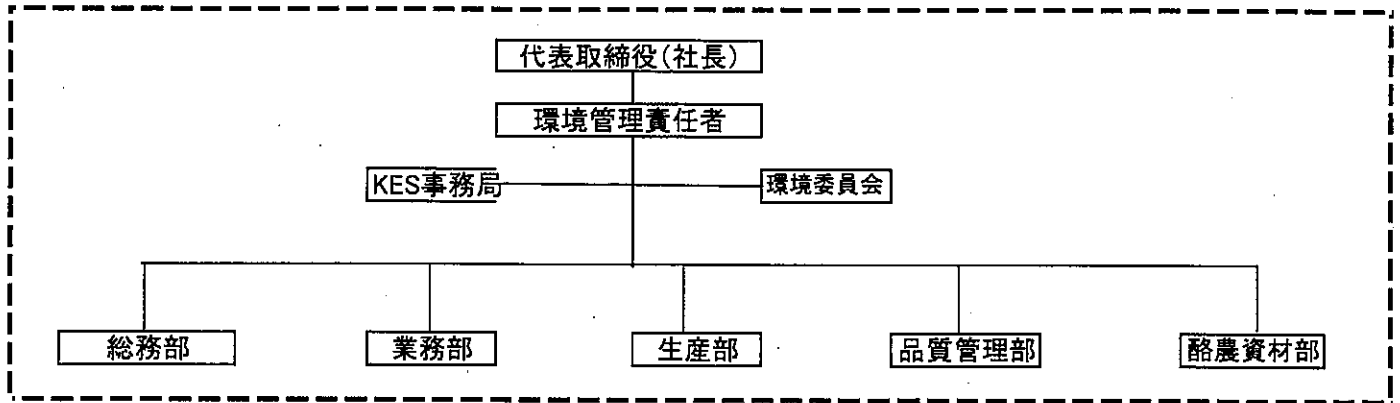
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	排水量の抑制	平成22年度に対して使用水を原単位で0.1%削減	使用水の垂れ流しの防止 洗浄設備の濯ぎ時間の見直し 送水ポンプの圧力調整
2	廃棄物の削減	工程内事故による廃棄物発生（年間10件以下）	作業標準の周知徹底 生産時日付の2人確認徹底
3	省エネ運動の推進	基準年度（平成22年度）に対してCO <sub>2</sub> 発生量を原単位で0.5%改善	製造機器の空転抑制 蒸気配管の保温 高効率照明器具への更新

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

環境委員会、経営会議で進捗状況の確認、評価、見直しを行なう

### (3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書を備付け閲覧可能な状況とする。

(4) 事業所位置図

